

浄潤先生の即興演奏CD&DVDです!

(どれも初公開!)

「皆さま、ご存じのように、浄潤（長谷川）先生は、ピアニストの側面も持ち合わせています。

というか、先生は中学時代からピアニストになりたく思っていたらっしゃり、大学時代にはライブ活動も盛んに行っていたらっしゃりました。（つの犬さんとの出会いも先生が二十歳の時、大学のジャズ研でだそうです。なおGoogleで長谷川浄潤と検索するとピアニストのサイトが出ますし、そこからたどって整体を受けにいらした方も多数…）

その後、大学卒業の日に、音楽の道ではなく、今まで修養のおつもりで続けていたヨガや整体を仕事にする決心をされたそうです。

それからの間は、いわば趣味として、録音をしたり、年に一、二回のライブを行っていたのですが、**山下洋輔さん**とずっと一緒に演奏されていたつの犬さんの「山下洋輔さんよりもいい。プロにならないのはもったいない」という言葉や、山下洋輔さん自身からも「**ずっとやっていてくれ!**」という激励の言葉を頂いたことに触発され、道場を浜町から伊勢佐木町に移したのを契機に、再び演奏活動を開始されました。

また、先生ご自身も勉強のし直しと、音楽学校に入学しながら、30年以上前にお世話になっていた坂本輝氏や田中信正氏に師事し、技術を高めるためクラシックピアニストの高橋明子氏の指導を受けるなど、多い時は、ほぼ毎日、各所に教わりに行かれたそうです。

ライブ活動は月に3回ほどのペースで続けられ、その中には、一流のミュージシャンしか出演できない関内のライブハウスの中で最も歴史があり、渡辺貞夫や山下洋輔さんなどの著名な演奏家を輩出した“横浜エアジン”でのレギュラー出演もありました。

2013年のエアジンでのソロ・リサイタルを最後に、先生は極端にライブ活動を減らし、最近では、横浜道場での舞踏コースの伴奏 BGM や祝典の時などを除くと、「ぜひ共演を」と依頼をされた時だけ、それもかなり絞っての活動にしておられました。

その理由について先生はこう仰っていました。

「決して音楽に対する情熱を失ったわけではないのですが、今は氣道に邁進したい、その個人指導である整体と氣道の学校を更に深めていきたい、と思ったのです。それに、私の音楽活動を趣味だと思っていたらっしゃる方もおられるようですから。これはショックでした。そのためライブ活動は会報に同封しないようにもしました。そして、それらが実現した際には演奏を再開しようと思っていました。ただ、共演者やライブハウスのマスターや関係者などには、『今、過去の自分の演奏を CD としてまとめているところなのでそれが完成したら…』とか『またソロ・リサイタルを行いたいので、そのための準備期間なのです…』などと伝えていましたが…」

そして最後に仰っていたことが実現の運びになったわけです。

それが、今回みなさんにご紹介する新CDとDVDです。（なお、ライブ活動はライブハウス“カモメ”にて6/5のソロ・リサイタルを皮切りに始められる予定だそうです）

なんと先生は、**過去30年間に録音した数百枚の全てのライブ録音**を聞き直し、その中からチョイスされました。

その中には、先生が音楽家への道を断念されたあと、岡島先生の許でご修行されていた時に止むに止まらず代沢の下宿で録音したピアノ・ソロの**処女作**も残っていますし、（残念ながら、関西の有線では評判だった、先生の10代のころのヴォーカル（室町さん）とのデュオは今回ボツになってしまいましたが…）、DVDでは**歴史上最も有名な舞踏家ともいえる大野一雄さんとの共演**も僅かながらですが収録されています。

実は、私もまだ聞いていません！（とっっても∞楽しみです）。ですので、**ここからは、指導者兼音楽マネージャーでもある佐野裕子と、長谷川先生ご自身にご紹介して頂こうと思います。**なお、ご購入者特典として付いてくる〈ライナーノート〉は、**必見!** 先生による全曲紹介&惜しくも今回ちらしからカットされてしまった逸話が満載で見逃せません!!

※なお、浄潤先生は、上記の案件を実現できたからこそ、この CD (DVD) 作成に取りかかったそうで、最後に仰っていたソロ・リサイタルも2016年6/5にライブハウス“カモメ”にてお誕生日を兼ねて行う予定です。（永井 晶）

1. 即興オムニバス〈アンコール集〉

(1989～2015までの演奏から選出。肘打ちからピアノッシモまで。総計約50分)

お待たせ致しました！皆様から長年ご要望を頂いておりました、長谷川先生のピアノCDをようやく皆様にお届け致します。

今まで行った数々のライブ活動28年間の中から、長谷川先生自ら選んだ即興ピアノ演奏を収録。

長谷川先生のピアノはまさに「音による整体」。自動運動のお供に、瞑想の前に、日常のひとときに、是非ご活用下さい。

(CD1枚+ボーナスCDとして、浄潤先生50才誕生日リサイタルもプレゼント+ライナーノート付) 2000円

浄潤コメント～ライナーノートより一部抜粋～



早いものでピアノに触れてから50余年がたつ。(おかしいですね。36才なのに…)「お母さん、恵理ちゃんの弾いてるピアノ、ぼくも弾きたい!」とだだをこね(注/恵理ちゃんとは前の家の子供)、両親にピアノを買ってもらい(今だに実家に行くと弾いています。あの頃は高かったろうなあ…)、近くのピノキオという文房具さんの自宅でピアノを学び始めた。

「実は…ぼく、音楽の道に進みたいんです」と中学校の音楽の先生に言ったら「可能性はあるよ」と。(絶対無理と言われると思っていたのにあの言葉は嬉しかった)その中学に通う道のりでは、芸大付属の音楽高校を受験する学友の自宅から毎日素晴らしい演奏が聞こえてくる。

そうしたみんなを羨ましく思いながらも、ぼくはただ自分の道を歩いてきた。その後も、いろいろとあったけれども、素晴らしい縁に巡り合い、多くの一期一会の演奏をさせて頂いた。

そう、私の演奏は、これまた一生のミッションである整体指導、氣道指導と同様に、“その時そのように”、“今、ここ”を何より大切にして演奏する一期一会の即興。

(続きは、CD購入者特典の〈ライナーノート〉をお楽しみに!!)

2. ピアノソロ〈処女作〉

(1988年9月10日、世田谷代沢の自宅にて収録。約30分)

ピアニスト・長谷川浄潤の原点。若き日の長谷川先生のピアノソロ演奏をお届け致します。

長谷川先生が20代の頃のご自宅での収録。今回初公開するお宝音源です!

(CD1枚+ライナーノート付、1980年代に長谷川先生の自宅での収録) 1000円

浄潤コメント～ライナーノートより一部抜粋～

これまた初公開の音源。

岡島瑞徳先生の許で整体やヨガの研鑽を積むため、近くの4畳半の下宿(トイレ、風呂、台所無し)に越してきた私だったが、今も私の整体を受けている高校時代からの友人Kから電話が入る。

「埼玉にいた頃、机の上にあったあの小さなキーボード処分したんだって? とっても安くて良い電子ピアノがあるのだけど買う?」と。

「今、弟子生活中で、没頭して学んでいるところ。だから、もうピアノは当分弾かないんだよ。」

「えーっ?!高校時代、10分の休み時間のごとに、俺を音楽室に連れて行って練習していたくらい好きだったのに?」…話は続き、結局、またピアノを弾きたい欲求に負け、買ってしまったのが、ヤマハのCP80という、電子ピアノといっても、ちゃんと弦は張ってある小さなグランドピアノのような優れもの。

部屋よりも大きいくらいなピアノが届き、それから私は毎日、深夜、勉強から戻ると鍵盤をつま弾いていた。

その音が聞こえてしまったのか、ある時・・・ (続きは、CD購入者特典の〈ライナーノート〉をお楽しみに!!)

1. 即興演奏オムニバス

(共演者、大野一雄さん、中村明一さん(「一期一会」) その他) ※会員限定

長谷川先生の〈初〉ピアノ DVD オムニバスが実現! 新宿ピットインでの演奏～氣道20周年祭でのゲート座での演奏～生きながら伝説の舞踏家といわれた大野一雄氏とのコラボ演奏。(大野一雄氏は参加してからずっと先生の演奏するところに何十分もかけてにじり寄っていらっしやりました)。続いて世界的に著名な尺八演奏家の中村明一氏とのデュオ(多くの方に「遠くからこれを聴きにきて本当によかった!」と言わしめた「一期一会」という題名の即興演奏。そのため全曲収録。それ以外は数十秒～数分のコラージュ映像です)

これら“奇跡の映像”を、会員限定で頒布させていただきます。

(DVD1枚&プレゼントCD、ライナーノート付 2002年8月27日～2015年5月24日収録) 会員限定 1800円

※なお、中村明一先生とのデュオ以外は全て抜粋ですが、以下の完全版をご希望の方は、以下をご参照下さり、事務局までお問い合わせ下さいませ。

●「浄潤トリオ with 大野一雄」

(1時間 58分。前半、舞踏稽古風景。(収録・大野一雄さんの稽古場。なお息子さんのご許可を得てのDVD公開)) 1500円

●「氣道 20周年記念祭 in ゲート座」

(1時間 59分。長谷川先生のトークから始まり、つの犬、竹内直とのトリオ演奏、青木先生の剣舞とのデュオその他完全収録) 1500円

浄潤コメント ～ライナーノートより一部抜粋～

(中略) ご覧になって分かるように、私たちは、演奏中、一度も目配せをしていない。

「音」——そして、その背後にある「氣」から音は現れる。

ただ“氣”を合わせることだけがすべて”。

(その道を氣道というのだけど、まずは自分自身に氣を合わせることから始まる。)

そして、音は、氣、沈黙に戻る。

(長谷川先生による詳細の各曲解説は、CD 購入者特典の〈ライナーノート〉をお楽しみに!!)



2. 即興演奏講座

※会員限定

音楽とはまさに「音」を「楽しむ」こと! この DVD で「その日から」、即興演奏ピアノができるようになっておきの方法を知ることができます。(朝日カルチャーセンターでも初の試み!)

「音を聴く」こと、「音を創ること」のレクチャーを通して、即興演奏そして音楽の醍醐味を味わえる、『とっておきのライブ&レクチャー』です。

(完全即興ライブのピアノソロ / サックスでの完全即興ライブ / 今の演奏がどのように成されたか / 誰でもできる簡単なピアノでの即興演奏の仕方 / ピアノ & サックス (フルート) での即興デュオライブ / 他)

この DVD は会員限定で頒布させていただきます。

(DVD1枚 2006年4月1日(朝日カルチャーセンター横浜) 収録、講師:長谷川浄潤 & ゲスト:竹内直氏) 会員限定 2400円

浄潤コメント

朝日カルチャーセンターでも初の試みの「即興演奏講座」。

私への依頼であったが、その頃、毎月、横浜道場で「音と体との関係」というワークショップで毎回、直さん(竹内直)と様々な実験的試みを行っていたので、この講座でも協力してもらった次第。今、聞くに、直さんの素晴らしさに感動。レクチャーも素晴らしいのだが、その音、演奏の素晴らしさは圧巻。(それだけでもこのDVDの価値は1万円以上と思う)その意味でも、大野一雄さん(舞踏)とのジョイントと共に最初で最後の奇跡の映像だろう。

なお、今回、初公開された CD (DVD) 以外に、以下の演奏もご紹介します。
それらにはライナーノートが付いておりましたが、簡単に先生からコメントを頂きましたので、以下、それも合わせて掲載させてさせていただきます。
ぜひ合わせてお求めくださいませ！ (永井 晶)

CD レクイエム

東日本大震災の後、青木宏之先生から「鎮魂の剣舞 (DVD)」の BGM として依頼され、その映像を見ながらの即興演奏。生きとし生ける凡ての魂へ。(長谷川先生には珍しいシンセサイザーやピアノ、リンなど3曲収録。(約14分)。暗い気分の時、気持ちを安定・鎮静させたい時などに特にお薦め。多くの方から反響を頂いている CD です。ぜひ青木先生の同 DVD (2千円) と合わせてお求めください。)

(CD1 枚 & ライナーノート、2011 年 11 月 (横浜道場にて収録) 700 円 (送料込み))

浄潤コメント

この CD と「放射能講座」の CD は、どなたにもお薦めしたい CD。(もう一ついえば「ガンについて」。なお氣道をご存じな方には「幸せになるための秘訣」を何よりお薦めしたい。)

人は誰でも死ぬ。この演奏は、東日本大震災の弔いのための演奏でもあるのだが、すべてへの鎮魂歌である。私自身が死ぬ時にもかけてほしい演奏だが、(もっと明るいのもね。カザルスのコルニドライと 1910 年代のバッハ無伴奏かな。)、この演奏によって、魂に戻り、元氣もと戻してほしい。私の演奏の原点でもあるだろう。

※なお、ゆん君 (佐野裕子) の紹介文にもあるように、これは青木先生の剣舞映像に合わせた即興演奏でもあるので、ぜひ青木先生の同 DVD もお求め頂きたい。

DVD&CD 浄潤トリオ with ワガン

プロのカメラマンを7人も駆使したという映像は、実際にライブハウスにいるが如く。ぜひその臨場感を味わって下さい。激しい音楽がお好きな方にお薦めです。

セネガルのパーカッションスト、ワガン・ンジャエ・ローズと浄潤トリオ (pf: 長谷川浄潤、sax: 金剛督、ds: つのだ健) が、「エアジン」にて初共演。(アーティストのディテールを捉えた映像は必見です)

(DVD1 枚 & CD1 枚、2004 年 4 月 18 日収録) 5000 円

浄潤コメント

古き私の演奏も聴かれない方はどうぞ。(今回初公開の処女作はもっと古いですが…)

CD 〈開運&招福〉浄氣

2013 年年頭の「一年を創る講座」の記録から、“最高にツク氣”を皆様にもお届け!

長谷川先生の祝詞や勤行 (初公開)、そしてそこに加わる一流のミュージシャン達の即興演奏 (!長谷川先生のピアノもあり) が、「場の浄化」や「夢実現」を強力に促します。自動運動の BGM にも最適。

(CD1 枚、2013 年 1 月 5 日 (横浜道場) 収録) 4400 円 (会員 3600 円)

浄潤コメント

ツクという意味なら、今回初公開した「即興オムニバス」の3曲目と4曲目も、最後までボツにしようかと思った曲であるが、聞いた人が「ツク」に違いない、と思って収録した意味が強い。また、夢実現の音源なら、何より、「夢カレンダー」の付録の「新月瞑想会」に収録されている夢実現のための即興演奏がお薦め。

しかし、思い出せば、たしかに、この年は、私も含めて、みんなツイていた。(今はもっとだけど…それは今年も行ったからかなあ。なお今年のは未収録)

もちろん、つのだや直さんの演奏はとっても素晴らしかったから、それを楽しみたい人や、私のお経も聞きたい人にはいいだろう。